



一般社団法人
ふくおかFUN
Field & Underwater Naturalists

〒819-0044
福岡県福岡市西区生松台3-19-5
TEL&FAX 092-407-6970
mail : uminogakko@fun-fukuoka.or.jp
web : <http://fun-fukuoka.or.jp>

ふくおかFUN

第6期 事業報告書

2019年 12/1  2020年 11/30

Contents

- 代表挨拶
- 第6期を振り返って
- トピックス・事業報告
- スタッフ紹介
- ふくおかFUN6年間の歩み
- 第7期計画・サポーター募集

代表挨拶

Message



一般社団法人ふくおかFUN
代表理事 大神 弘太郎

社会が大きく変わった2020年、ふくおかFUNにおいても、様々な団体や企業の皆さまと同様に大打撃を受けました。伝える場の減少、対話の制限、距離の確保など、これまで行ってきた様々な活動が失われつつありました。一時は「解散する」という言葉も脳裏をよぎりましたが、“自然伝承”の想いと情熱を絶やさず、目の前の活動に取り組んだ結果、今こうして応援して下さる皆さまへ第6期の活動報告を行うことができました。

まだまだ予断を許さない状況ではありますが、これまでの活動が実を結び、多様な主体との新たな連携も生まれて来た今、活動を継続していくことの重要性和その責任を強く感じています。第7期も元気に走り続けながら、関わる皆さまと向き合い、より活動に尽力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

6th Look-back

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大により、罹患された方とその関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されている皆さまに感謝申し上げます。

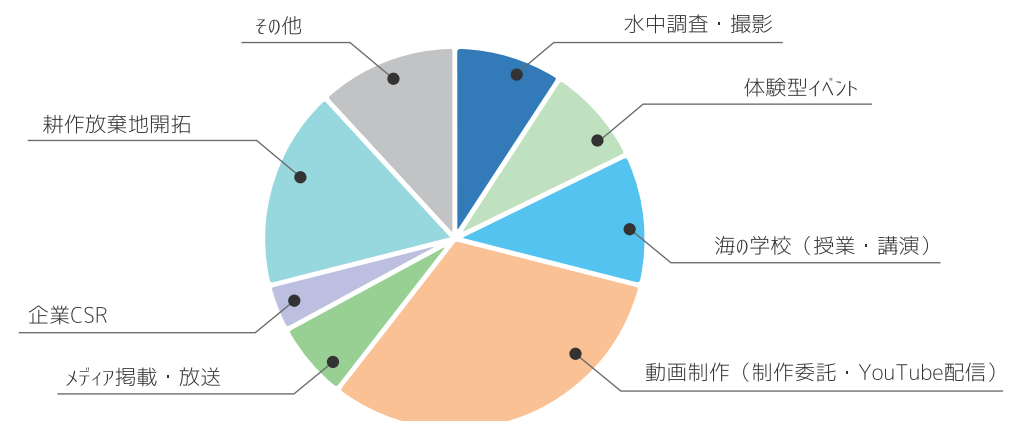
ふくおかFUNは11月末をもって第6期を終了いたしました。今期もたくさんの皆さまからのご支援、ご指導を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

今期は、第5期に引き続き、多様な主体と連携しながら活動地域や対象を広げることを目指していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、授業や講演、イベント等を相次いで中止せざるを得ない状況が続きました。先の見えない社会情勢において、これまで築いてきた活動を継続することが厳しい環境に置かれていましたが、前を向き、スタッフ一丸となって「今だからこそできること」を考えながら業務に取り組んできました。

結果として、YouTubeチャンネルの開設や、海の映像を活用した動画制作、オンラインによる授業や講演、イベントの実施、といったように、新たな生活様式を遵守しながらも、これまでと変わらず海の魅力や課題を伝えることのできる活動をいくつも生み出し、実行に移すことができました。

この先の社会環境も依然として不透明であり、様々な活動を行うことが難しい局面が続くものと思われませんが、第7期は、活動地域の拡大や組織力の強化を進めるとともに、目の前の課題に常に柔軟に対応していくことで、引き続き海の魅力を発信すること、海と人の関わりを深めていくこと、課題解決のための手法を実践することを目指します。

第6期プロジェクト内訳



自然伝承の 想いをカタチに

海の新たな環境課題に挑戦！

都市部の海で大量発生し、生態系への影響や悪臭が問題となっているくアオサ（アナアオサ・ミナミアオサ）を、「ダイバーだからこそ」という視点で有効活用できないかという考えから、『アオサ実用化プロジェクト』をスタートさせました。

くアオサそのものが悪いわけではないという考えのもと、海中から回収したアオサは単に処分するだけでなく、パルプと調合することによる紙製品の試作や食品への加工など、様々な試行を重ねています。今後も、このプロジェクトを通して、身近な海を守りながら人を笑顔にできるような挑戦を続けていきます。



〔助成団体：日本財団「海と日本プロジェクト」・福岡市環境局「エコ発する事業補助金」〕

「自然伝承」を続けていくために

2020年3月、新型コロナウイルスの猛威は、ふくおかFUNの活動にも大きな影響をもたらしました。「イベントの開催が難しくなるかもしれない」「これから世界がどうなっていくのかも分からない」「ここで自然伝承の道を途絶えさせたくない」

これまで感じたことのない不安の中ではありましたが、癒しや楽しさの溢れる水中世界をたくさんの方々に届け続けるために、映像の撮影や編集の技術を学び、YouTubeチャンネル『ダイバー先生』を開設しました。

私たちの発信する水中映像を日本全国・各方面の方々に見ていただいたことが転機となり、国土交通省国土技術政策総合研究所からの依頼でブルーカーボンに関する動画を制作したり、香

川県の小学校から『ダイバー先生』として授業の依頼があったりなど、これまでになかった動きで活動が展開していきました。

また、オンラインイベントという新しいイベントの形が生まれたことで、人との繋がりも絶えることなく、さらに多くの拡がりをみせています。

今後も、社会の変化に対応しながら、ふくおかFUNはずっと昔から伝わる水中世界を守り、次の世代まで繋いでいきます。

YouTube

ダイバー先生



これまでの経験を武器に ゆるぎない強さを身につけていく

第6期の後半は、スタッフの経験値向上を目的として、それぞれが各プロジェクトのリーダーとなりイベントの企画運営等を進めることに取り組みました。

プロジェクトの全体像や流れを理解しようと努めたからこそ、自身の大切にしたいこと・得意なことが少しずつ見えてきました。第7期は、それぞれの専門性を高めながら、誰もがプロフェッショナルとなることを目標とし、心身ともに確かな強さを身につけながら、『自然伝承』の想いをより多くの方々に届けていきます。



Project Report

ダイバーとして生きる 私たちは海の伝えびと

授業・講演・イベント

第6期は新たにWEBを活用した授業や講演、イベントを始めました。オンラインで繋がることにより、これまで以上にたくさんの方々との関わりが生まれました。参加者がどこにいてもコミュニケーションを取ることができるこの方法は今後も積極的に活用していく所存です。さらに、オンラインならではの課題も明確に見えてきたため、第7期は一つ一つ解消していきたいと考えています。

水中調査・撮影

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、様々な活動の規模縮小を余儀なくされましたが、潜水調査及び撮影については継続して実施することができました。博多湾内やその近海での水中生物撮影、アイランドシティにおける藻場調査や、地行浜への竹魚礁の設置とその経過観察を行ったほか、2020年10月には滋賀県・琵琶湖において、当団体初となる淡水での調査（湖底や水中生物、ごみの様子等）を実施しました。

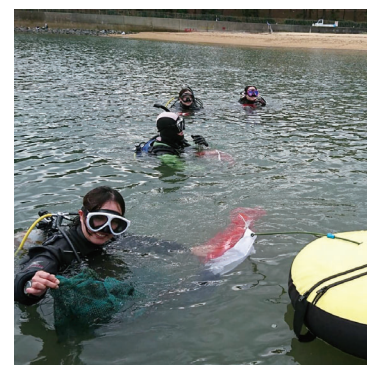


一人ひとりの心に向けて
想いの灯を繋いでいく

新規プロジェクト

これまでの継続活動に加え、第6期は新たな取組みにも着手しました。海とは遠く離れているようで繋がっている山での活動（耕作放棄地の開拓）や、海のお困りごと「アオサ」の実用化プロジェクト、これまでに撮りためてきた水中映像を活用した動画制作、17年間続く福岡県の事業「ふくおか水もり自慢！」の企画準備等、多岐にわたりましたが、様々な関係機関との連携を深めながら進めることができました。

目の前の水中世界を
見守り伝え続ける



愛する地球を守るため
私たちができること





第6期 一番思い出に残っていること

Youtubeをはじめたこと。2020年4月コロナ禍となったとき、苦肉の策でスタートした。動画の編集をみんなで一生懸命勉強して、必死にアップした日々。本当に大変だったけど、「伝えたい」という情熱の火を灯し続けることができた!! (大神)

4月1日、平山彪悟が新卒入社したこと、コロナの中で何ができるかをスタッフ全員で考え、「今できること」に全力で取り組んだこと。(土田)

5/13、14の香椎アイランドシティ1周。全長約6kmを泳いで調査した後の達成感は凄かった。(平山)

初めて非常勤スタッフの3人でゼロからイベントを企画し、最後まで実施したこと。(智原)

Staff Interview

スタッフインタビュー

山でたくさんお仕事をしましたこと。撮影ダイブに行く合間に、山(耕作放棄地)での活動もあり、とても充実していました!(江幡)

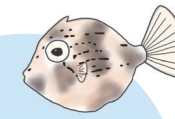
アオサ活用プロジェクト! 「何とかする」だけでなく、「なるようになる」の精神を持つようにする。(土田)

ボランティアスタッフではなく、初めてお仕事として携わったFUNクリーンアップデー。(神農)

“仲間たちが「得意なこと」「好きなこと」に徹底的に没頭できる環境づくり”をがんばります!(大神)

第7期は「とにかく潜る!」を頑張ります。可愛い絵を撮りたいなあ♪(江幡)

第7期は「伝える」より「伝える」言葉をたくさん使えるようになりたい。様々な場面に合った言葉を発信できるよう、多くの方と心を繋いでいきたいです!また、ふくおかFUNのスタッフとして、竹のようにしなやかな強さを持った女性になれるよう頑張ります♡(大江)



第7期に向けて

水中調査に関するスキルをより増やす。(平山)



代表理事
大神 弘太郎



水中調査・撮影
平山 彪悟



水中調査・撮影
智原 絵里



水中調査・撮影
坂井 いつき



水中調査・撮影
江幡 純希



営業広報・イベント企画運営
大江 由美



事務局
神農 千裕



事務局
土田 愛子

福岡の海の コトが面白い!

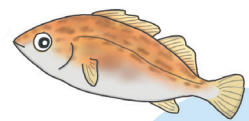


「陸の上からでは見えないけど、潜ってみると豊かな自然が広がっている」という意外性がおもしろい!美味しいお魚だけでなく、可愛い生きものもたくさんいる!(大江)

最初は、博多湾内の透視度に多少ビックリしたこともありましたが、その中で生物を見つけたり目的を達成したときが楽しくて、この環境下ならではの楽しみを発見できます。(坂井)

おもしろいところ多すぎて一つに絞れない!!(大神)

都市部の海なのに豊かな生物が多く生息しているところ。(平山)



ふくおかFUNって どんな団体!?

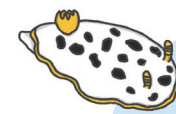
海を軸に、今の自然を見て伝え、皆で守っていくとすする団体。(平山)

それぞれの個性があって、それを活かせる場所。(神農)

良くも悪くもマジメー徹!(土田)

それぞれが自分の思いをもって行動にかえていく団体。(坂井)

みんなが明るく、パワーをもらえる団体。(智原)



サポーターさんへ

2020年は顔を合わせて笑いながら、過去のこと・未来のこと、アツい話をする機会がなかなか得られませんでした。だからこそ、必ずやってくる次に会える機会を楽しみにしててください。しっかりと成長した姿をお届けします!!笑(大神)

これからも福岡の海を中心に様々な情報を発信し、活動を行っていきますのでこれからもよろしくお願ひします!(平山)

いつも支えていただきありがとうございます!私も毎月500円のサポーター会員になったことから、ふくおかFUNとの関わりが始まりました。その頃感じていた「この団体を応援して良かった」「この活動に関わることが嬉しい!」という気持ちを皆さんにも感じていただけるよう、日々の活動を頑張ります!(大江)

2020年はあまりイベントを行えず、一緒に活動する事が少なかったですが、第7期はもっとたくさんの方に福岡の海を伝えていきましょう!!(智原)

いつも応援ありがとうございます!これからも、自分らしく、しっかり自然を伝えていきます!特に僕は、子どもに良い影響を与えられたらと思っています!!(江幡)

こんなご時世で直接お会いする機会が少ないですが、様々な人話を聞くこと・話すことが大好きなので、お会いしたらいっぱいお話ししたいです。(坂井)

ふくおかFUNのイベントや活動を通じて、人との繋がり、海や環境のことを数多く学んだので、これからもみなさんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。(神農)

いつもふくおかFUNを応援いただき、ありがとうございます。前だけを見て突き進んできた6年間でしたが、振り返ると本当に皆さんの皆さんに支えられてきました。その温かい気持ちに私たちはいつも助けられ、力をもらっています。これからも、海を大切に、そして海を取り巻く人々を大切に、日々と向き合っていきます。(土田)




History ふくおかFUN 6年間の歩み

12月	2014	設立、登記
2月	2015	博多湾の生物多様性や環境保全について伝える活動（通称：海の学校）を始める
3月		小中学生を対象とした「ひろい”海の活動”」事業を始める
4月		福岡市の後援を受ける 「災害救援ダイバー育成」事業を始める
5月		福岡の海の「水中環境調査・観測・撮影」事業を始める
12月	2016	スキューバダイビング1日体験「FUN海体験」事業を始める
3月		福岡市役所内にて博多湾の水中写真展を行う
4月		スキューバダイバーより博多湾の環境保全基金を募る
4月		公益財団法人日本財団の助成を受ける（～2016年12月） 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金の助成を受ける（～2017年3月）
3月	2017	福岡アジア美術館にて水中写真・映像展「ふくおかのうみ展」を開催
4月		福岡市環境局保健環境研究所との共働事業「地行浜いきものプロジェクト」を始動 エフコープ生活協同組合の助成を受ける（～2021年3月） 公益財団法人大阪コミュニティ財団/東洋ゴムグループ環境保全基金の助成を受ける（～2019年3月） 一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受ける（～2018年3月） 独立行政法人環境再生保全機関 地球環境基金企業協働プロジェクト（LOVE BLUE助成）の助成を受ける（～2020年3月）
10月		当団体代表・大神 弘太郎が「一般財団法人セブン・イレブン記念財団」が主催する「第20回環境NPOリーダー海外研修」のメンバーに選出され、ドイツに渡航する
11月		福岡市西区生松台3丁目19番5号に事務所移転
3月	2018	福岡市中央区「天神CLASS」にて水中写真・映像展「ふくおかのうみ展」を開催
4月		福岡市農林水産局水産振興課との共働事業「FUKUOKAおさかなレンジャー」を始動 公益財団法人日本財団の助成を受ける（～2021年3月）
5月		博多湾NEXT会議に参画
6月		第9回「福岡市環境行動賞」優秀賞を受賞
4月	2019	「海ごみ回収プロジェクト」を始動
7月		福岡市科学館とのコラボ企画「夏うみDIVING～海中から生中継サイエンスショー～」を開催
10月		海中海岸同時清掃イベント「FUNクリーンアップデー」を開催
1月	2020	「アオサの実用化プロジェクト」を始動
4月		YouTubeチャンネル「ダイバー先生」を開設



一般社団法人ふくおかFUNは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

第7期計画

<p>アオサ実用化プロジェクト</p>  <p>都市部の海（特に夏季）の課題となっているアオサ、これまでも様々な観点から活用・消費していく方法を模索してきました。第7期はさらなる試行を続け、アオサを実用化していくためのプロジェクトを進めてまいります。</p>	<p>海の魅力とごみ問題</p>  <p>昨今は、海ごみ問題の話題を目にすることが多くなってきています。喫緊の課題であるが故、どうしてもネガティブな話題になりがちですが、ふくおかFUNとしてはあくまで「海の魅力発信」をベースに、行政、漁業者、大学、他NPO等と連携して、海ごみ問題を考え、伝えていきます。</p>	<p>オンライン授業講演の強化</p>  <p>最近では、WEBによる授業・講演も増えてきました。課題は「写真・映像の質を上げる」「五感の再現」「タイムラグとの向き合い方」です。参加者にとってより楽しく、考える授業を生み出していくために、一方通行になりがちなWEB授業をもう一度見直し、質を高めていきます。</p>	<p>組織改変</p>  <p>これまでのふくおかFUNは全員の総力をもって各プロジェクトに取り掛かる体制でしたが、それぞれが関わる案件が増えてきた今、潜水調査やイベント企画運営、クリエイティブ、広報など役割を明確化し、専門性を追求していこうと考えています。スタッフ同士の対話を大切にしながら、楽しく取り組める活動を目指します。</p>
---	--	---	--

サポーター募集

ふくおかFUNでは、団体理念や活動主旨に賛同を頂ける方々のご参加・ご支援を募集しています。

【サポーター会員として寄付する】

● 個人の方

当団体のサポーター会員にご登録いただける方は、ご希望のプランをお選びいただき、お支払い方法をご確認の上、お手続きくださいますようお願いいたします。
会員の皆様へは、ふくおかFUNの活動報告を記載した広報誌およびオリジナル特典をご登録住所へ随時発送します。

サンゴタツ会員	6,000円/年（月々払い：500円）
ハナタツ会員	12,000円/年（月々払い：1,000円）
タツノオトシゴ会員	36,000円/年（月々払い：3,000円）
アマモ会員	3,000円/年（月々払い：不可）

● 企業の方

1口：10万円～
口数に応じて当団体のHPやSNSにロゴの掲載等の特典をご用意しております。詳しくは、お問い合わせください。

check!

申込方法や特典の内容はホームページをご確認いただくか、直接お問合せください。



ホームページはこちらから▶

【ボランティアスタッフとして活動に参加する】

海や自然が大好きな方、子ども達と遊ぶことが好きな方、ボランティア活動に興味がある方、教育関係、イベント関係、自然体験に関する仕事を目指している方など、私たちと一緒に活動してみませんか？学生でも社会人でも、元気とやる気があればOKです。活動ボランティア募集の際は、当ホームページやブログで告知を行いますのでご確認ください。